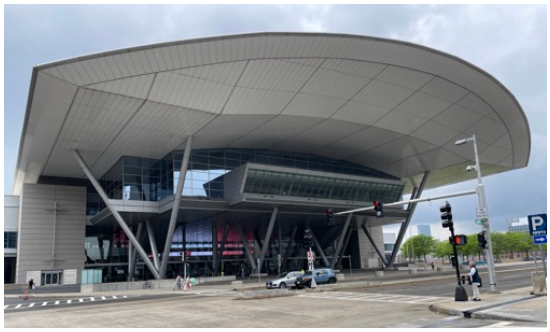
国際幹細胞生物学会（ISSCR2023）への参加

創薬科学研究科　基盤創薬学専攻　細胞薬効解析学分野
博士後期課程 2 年　西村優利

出張先：アメリカ，マサチューセッツ州，ボストン
出張期間：2023/6/13-2023/6/19
出張目的：International society for stem cell research (ISSCR) annual meeting への参加およびポスター発表

【概要】
アメリカ，マサチューセッツ州，ボストンにて開催された ISSCR2023 に参加し，「 Molecular and functional characterization of human thalamocortical and corticothalamic interactions in iPS cell-derived assembloids」という題目でポスター発表を行った．

【所感】
ISSCR は幹細胞生物学における世界最大の学会とあって，世界各国から幹細胞生物学を専門とする研究者が集まっていた．世界中の研究者の研究発表を聞く中で，現在の幹細胞生物学研究は，分化誘導法の確立など発生生物学的な観点のいわゆる“基礎”研究は完了しつつあり，それらを活用した再生医療や創薬などの“応用”研究の段階にあると実感した．このような幹細胞生物学の現状に加えて，論文を読むだけでは得られないような最先端の知見についても学ぶことができた．


学会会場

自身のポスター発表では，国内外の研究者と議論を行うことで，今後研究を進め論文投稿を行うにあたって必要となる実験のブラッシュアップができた．一方で，自身の英語力については課題が残る発表となった. 英語力, 特に speaking と listening の能力を向上させる必要があると感じた.

最後に，参加を推薦してくださった小坂田文隆准教授，旅費等をご支援いただいた GTR の皆様に深く感謝いたします.